



2025 年 11 月 7 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 島 根 銀 行
代 表 者 名 取 締 役 頭 取 長 岡 一 彦
(コード番号 7150 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 執 行 役 員 人 事 財 務 グ ル ー プ 部 長 佐 野 克 巳
(TEL 0852 - 24 - 1238)

2026 年 3 月 期 第 2 四 半 期 (中 間 期) 業 績 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

当行は、2025 年 5 月 13 日に公表しました 2026 年 3 月 期 第 2 四 半 期 (中 間 期) (2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日) の業績予想を下記のとおり上方修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

2026 年 3 月 期 第 2 四 半 期 (中 間 期) (2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日)

(1) 連結業績予想数値の修正

	経常収益	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1 株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A)	百万円 5,230	百万円 210	百万円 170	円 銭 13.57
今回修正予想 (B)	5,380	340	310	30.63
増減額 (B - A)	150	130	140	
増減率 (%)	2.8	61.9	82.3	
(ご参考) 前期実績 (2024 年 9 月 期)	5,206	605	502	53.98

(2) 個別業績予想数値の修正

	経常収益	経常利益	中間純利益	1 株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A)	百万円 4,340	百万円 190	百万円 160	円 銭 12.35
今回修正予想 (B)	4,440	330	300	29.42
増減額 (B - A)	100	140	140	
増減率 (%)	2.3	73.6	87.5	
(ご参考) 前期実績 (2024 年 9 月 期)	3,994	593	498	53.53

2. 修正の理由

個別業績予想においては、貸出金利息、有価証券関連損益（益）が当初予想を上回る見込みとなったことに加え、与信関連費用が当初予想を下回る見込みとなりました。

連結業績予想については、単体の要因に加え、連結子会社の業績も好調に推移する見込みであることから2026年3月期第2四半期（中間期）の業績予想を修正するものであります。

なお、下半期（2025年10月1日～2026年3月31日）において、今後の経済環境が不透明であることなどから与信関連費用や有価証券関係損益等を慎重に見込んでおり、2025年5月13日に公表しました、2026年3月期（通期）業績予想の変更はありません。

※本資料に記載されている予想計数は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

（参考：個別業績予想についての補足説明）

項目	取組事項
貸出金利息	✓ 金利上昇に不安を覚える地元事業者様に対しては、安心して資金調達をしていただけるよう、あえて固定金利型の商品の販売を推進するなど、地元事業者様に寄り添った支援の実施等により、当初想定以上に貸出金残高が伸長。 ✓ お客さまのもとに足繁く通う「フェイス・トゥ・フェイス」の質の向上による、金利の引上げ含めたお取引先との丁寧な対話を通じて、適正な貸出金利を確保出来たことで、貸出金利回りが上昇。
有価証券関係損益	✓ 好調な預金獲得を背景に、金利上昇基調にあった国内債への投資を拡大したことなどで、安定的な有価証券利息配当金を確保。 ✓ 今後の海外金利の見通し等を踏まえて、当初予定していた有価証券のロスカットを見送ったため、有価証券関連損益（益）は当初予想を上回る見込み。
与信関連費用	✓ 地元事業者様の経営努力を後押し出来るよう、企業支援室を中心として、様々なソリューションの提供によるきめ細かな伴走支援が実施出来たことで、与信関連費用が当初想定を下回る見込み。 ✓ 当行メイン取引先以外のお客さまとも緊密な関係を構築し、突発的な与信関連費用の発生を抑制。

以 上